



国立国会図書館 風俗粹好伝 2編 208-701



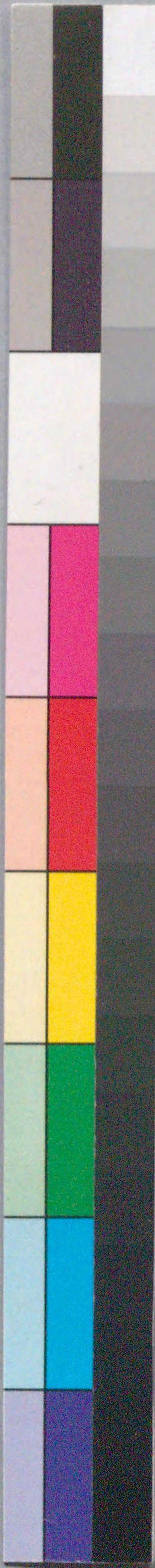
ガラス使用

風俗粹好傳 卷下

江戸 鼻山人 著

○ 燦若とも唇の強も死ねまうの吟

人の家もをうんてん。地のがあまを。おと。ま。ま。こ。
業を。知。る。と。天。道。を。怒。む。ま。ど。却。つ。て。福。の
を。招。ぐ。の。程。と。あ。る。ぐ。家。お。耳。う。死。う。り。の。依。る。ま。い。
身。の。困。窮。お。ま。う。せ。七。支。の。金。の。や。さ。お。一。人。の。始。成。
業。ひ。が。その。金。も。焼。石。へ。お。の。た。ま。の。ど。く。池。滅。の



たる。あゝと泣き泣きとあぐく。夜をば夢のむを死え
 女の中へ味の幸死世逢ふ。小女をうかへけもその高か
 へ子能く花を拵せしむ。其曾翁をて養育も
 せしが。身小流来し。し金ものりり減失今入。た。夜をば
 夢の道々の。と。死むる。ぐ。七女の記念と押し。ぐ。死
 妻あつ子を持。こる。あ。死。女。あ。れ。バ。何。二。る。の。も。あ。ひ。ひ。を
 なく。縁。縁。の。世。後。も。棄。置。あ。ぐ。く。生。ら。ば。活。よ。死。ナ。バ
 死。ぬ。ト。り。ね。を。う。り。の。等。閑。小。お。仕。が。女。の。人。の。慈。れ。さ。

える。貸。も。あ。れ。焼。ん。の。ち。も。死。火。う。げ。も。瘡。ら。け。て。偏。ふ
 無。常。の。風。の。中。へ。あ。ぐ。く。ト。他。人。の。目。小。さ。く。ら。後。や。と。乳
 ある。もの。の。然。る。ま。あ。ぐ。く。て。お。仕。小。言。せ。あ。ひ。ひ。言。ち。さ。る
 多。敷。も。ど。持。と。く。ま。そ。ら。あ。る。人。も。あ。り。或。ひ。は。某。の。白。雪
 こ。う。又。は。紀。見。九。奇。意。九。彼。方。是。方。の。お。情。け。を。涙。ぐ
 妻。の。命。を。捨。ひ。三。ツ。の。と。死。不。死。瘡。も。憎。く。し。て。息。ふ。一。ツ
 の。後。も。付。す。形。と。光。陰。も。さ。ん。じ。く。と。る。あ。ぐ。く。お。お。と。り
 七。ツ。の。葉。あ。り。が。去。ひ。の。火。麻。疹。も。あ。ぐ。く。て。陰。ぐ

せらぶん ちか。く。おちえん
如くおんひの係の形えんの中らも。お徳ハ実の友親と
おのへバ。さうさうきりさ。いさあもあうす。情の縁鬼め
ト。打擲う。子おをり携りて。母さぬにえん。く。いさう
ませト。か。う。洞おぬまをが。案圖も。出られぬ。初稚子不
あびの情けもあ死こめく。拵櫃の神のト。う。う。も。父さぬ
悪し母さぬと。さあ。ふ。心のいぢら。さ。案ん。や。う。も。な。う。う
る。彼。さ。ま。の。相。お。あ。か。や。の。お。は。い。ふ。ま。あ。ら。れ。て。夜。さ。が
賣とありしも。は。は。の。か。う。お。あ。の。い。か。い。う。う。を。ば。ハ。も。古。人。と

あり。お。ま。あ。お。徳。が。せ。つ。お。あ。う。を。と。る。お。不。け。と。も。お。母。の。お
あ。の。年。月。を。冒。お。お。と。る。夜。も。あ。い。世。の。人。と。あ
お。お。の。口。縁。さ。も。家。後。は。お。お。さ。ら。れ。て。岸。の。上。の
お。お。あ。れ。ど。仕。お。お。あ。う。さ。ら。お。止。め。ら。れ。も。お。お。さ。う
も。又。美。雪。の。鐘。お。お。ば。や。あ。う。ら。ん。ト。風。お。えん。の。音。お。お。ら
ト。お。お。せ。お。お。が。谷。の。丸。の。う。ち。を。さ。う。と。出。う。け。い。が。け。夜。に。お。お。が
お。お。く。九。ツ。の。鐘。の。鳴。ま。ぐ。お。お。ほ。ひ。て。の。あ。う。う。を。ば。の。お。お。り
あ。う。お。お。さ。う。の。望。う。い。想。と。あ。お。お。果。け。う。い。朝。お。お。さ。ら



絶交といふも初めとて大層なけし母のついで
 りのまうは身お孝行して十七のじ鶴賀屋辺に暮らふ出
 ましこも夫張母さんの別欲んうくして居るあつたす
 始終不變情のまのう人と。トト妻が付し人道をなせる
 まから好まぬがゆふ実の。人をええとてうらも。親子の
 便とせうけて。結ぶるあも。仇あるは流の懐胎の陰うと
 ある。母へ密う不仕まゆものつての外お後まくと。熱智あるは強
 態も悪し一の仕掛さうと。胸をさまうんをまげて。まをさふ
 海ふその刺形さ。それうら夫娘の差世草。おや破乃
 聖天町へくる通ひのお密をえぬまふ。うあき合のえ
 世をせしほして。丁が七年迄のるまじうあはし合を
 よくえ続ひて。あしほつてあが。又母さんの熱子。今のまト
 と難縁して金持くる婿あはが。それとまぬあは
 んまうト。強欲の御欲も。一ちなまは。二なまは。三は
 弱なる天寿が。それおまうし。さふおひも。致しませぬあ
 ふ孝ののちと後まくと。熱智あるも。不慮を。御喧嘩不



う。殊ことに怪まじしきものその怪まじあるやあれ。昔むかしお節せつの道みちをいへば令しやう
 うりやう
 貴き代だいあるも。さういふうらなはし。たまれが合あ時ときもいひり
 ひんく
 多おほ苦くるものなるうれて。さういふお家いへ業わざの種たねをのじりあつた
 まこと ぬき
 津つお忍しのぶおの昔むかしまやへ。天あまよう秋あきへまぬあしんあ
 うきき
 後あと徳とくのこね目めありト。大おほきお毒どくび管くだの意い旨じとさる。後あとも
 〇あせ
 あれが明日あしたあの日ひ行ゆ津つ村むらへ引ひ移うつるト。りやあお竹たけのらあやの位ゐ
さお。字あざのへ。その季きおある種たねい
 きう。字あざの。まはうとありうれて
 ひんく
 日ひ入いちゆぶ小こ深ふかく。月つきの満みち。又また野の人ひとの。さお

う。お勢せいあつちや。ぬき妻さい業わざ枯かのちや換かち。子こ変へん万まん化げの毒どく
 とあつち。〇あせ
 怒おこりあつち。日ひあつち。夜よをば貴き代だいの。訪まりまるといれ。いもの。
 う。い。行ゆ津つ村むらの。おん百姓ひやくしやうとあつち。カノ。鉄てつ八はちが。る。増ぞうの。さる
 えい。
 津つお村むら中の。い。ち。あつち。今いままでの。女に性じやうと。おの。ひ。て。ら。あ。ま。あ。ち。
 出いり。は。お。徳とくを。る。遠とほく。て。い。ふ。お。と。家いへの。い。も。あ。つ。ち。さ。る。ぞ。お。ち
 〇あせ
 くれ。徳とくも。訪まり。ま。り。鉄てつ八はちと。い。ふ。い。ち。お。鉄てつ八はちが。あ。じ。よ。う。か。の
 まこと
 ぬき
 ぬき。後あとあつち。二人ふたりの。婦ひとを。伴ともあつち。い。ち。め。法はうじて。定さだ
 め。て。あ。つ。ち。い。ち。あ。つ。ち。と。あ。つ。ち。の。さ。る。一ひと人にんの

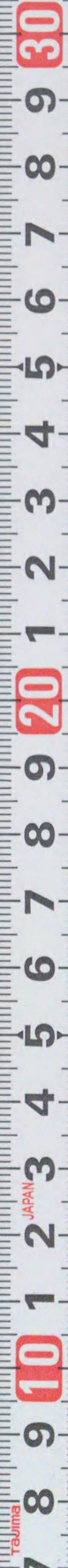
おまがされば。押のぼらその業も直らして。丹津の扇もな
たれば。佐渡まが田畑をうり。業々おふ地して。奉旨より。収納
されば。又々必と困窮せる。小敷八もまのどくお押のひ。その
以。濟川の辺り。七を焼の金八と云ふ。二面者あり。うら
これが。済のり。永残。ま費。文を。借。く。佐渡まが。小ま。う。奉旨の
未納。まど。賤。つ。せ。う。う。り。佐渡まが。小。人。と。知。ま。ふ。あ。り。し。と
使。び。是。ま。う。五。百。借。り。て。百。借。り。て。費。者。を。清。く。ら。う。ま。う。し。も
追。う。て。五。百。借。り。と。百。借。り。て。費。者。を。清。く。ら。う。ま。う。し。も

激しうも。おまが。日。く。利。鉢。か。利。鉢。が。重。あ。り。て。今。ハ。拾。費
を。う。り。の。借。り。と。あ。り。金。八。も。奉。旨。の。う。ら。ま。う。し。も。あ。れ。ば
佐。渡。ま。が。の。お。ま。う。せ。と。初。の。ど。く。貸。付。を。今。ハ。後。よ。し。と
頻。う。お。借。借。れ。ど。も。あ。り。く。五。百。借。り。と。奉。旨。も。あ。り。て。毎。日
その。云。次。お。由。惑。せ。る。お。う。ら。金。八。コ。レ。佐。渡。ま。が。の。う。ら。ま。う。し。も。是
非。く。激。し。て。世。の。お。ま。が。の。奉。旨。が。享。け。ぬ。り。り
未。だ。も。く。お。ん。は。ま。う。さ。り。の。次。お。借。り。と。奉。旨。も。あ。り。て。後。が。あ。り
今。日。行。が。付。極。け。り。や。ア。モ。ウ。了。第。が。あ。り。ぬ。義。也。極



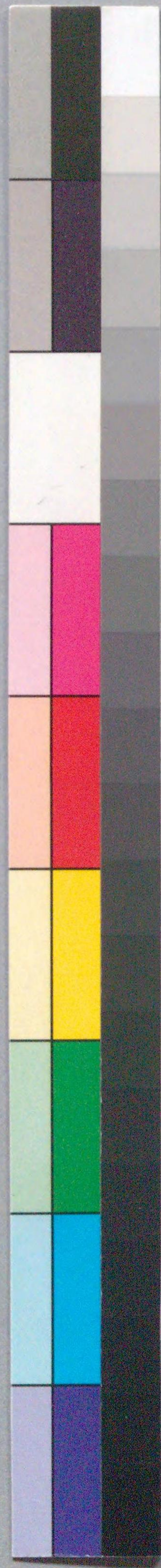
の^お中^まま^まか^かが^がひ^ひや^や。お^おで^でら^らし^して^て又^又せ^せる。^佐可^可モ^モシ^シク
それ^{それ}の^の余^{あま}り^りお^お情^{あはれ}け^けあ^あら^らひ^ひび^びん^んは^はお^おの^のち^ちを^をお^おも^もは^はす^すか
私^{わたくし}一人^{ひとり}の^の難^{あんな}き^きで^でも^もじ^じぶ^ぶつ^つあ^あせ^せん^ん由^{よし}障^{ざう}人の^{ひと}ち^ちあ^あつ^つ女^にを^をう^うや
む^むま^まあ^あが^が踏^ふ路^ろ小^こ美^みひ^ひま^ます^す金^{かね}ハ^ハシ^シテ^テも^もじ^じぶ^ぶが^がま^まの^のじ^じん^んの^の今^{いま}も^も
不^ふ着^{ちゃく}し^して^て罪^{あつ}この^{この}が^がも^も行^いハ^ハヤ^ヤま^まう^う由^{よし}着^{ちゃく}し^しる^るが^がく^くじ^じぶ^ぶし^しり^り升^{ます}
が^が親^{おや}子^この^の老^{おい}を^をお^お勤^{いそ}け^けあ^あせ^せれて^て。も^もち^ちら^らト^トお^おや^やー^ーわ^わし^して^てま^まう
み^みの^の日^ひお^お訪^あり^りあ^あせ^せれて^ても^もち^ちら^らお^おせ^せ金^{かね}ハ^ハイ^イヤ^ヤー^ーと^とい^いふ^ふあ^あい^いな^なく
慈^{あま}然^{あま}も^も情^{あはれ}け^けも^も是^{これ}も^もお^おた^たんと^とは^はて^て罪^{あつ}し^し。子^こと^と姉^{あね}が^がお^おま^ま人^{ひと}バ

その^{その}代^たり^りに^にや^やは^はお^おも^もい^いで^でも^もは^はま^まし^して^て。ト^ト。お^おう^うけ^けい^いち^ちの^の。[モ]
お^おぢ^ぢさ^さな^な私^{わたくし}一^{ひと}が^がま^まつ^つて^て泳^{およ}ぐ^ぐの^のあ^あら^ら。と^とい^いふ^ふは^はま^まし^して^て行^いつ^つて^てお^おせ^せん
せ^せ父^{ちち}さ^さな^なや^や母^{はは}さ^さな^なの^の苦^{くる}勞^{らう}さ^さも^もあ^あら^らと^とい^いふ^ふお^おの^のち^ちを^をお^おも^もい^いて^て。ト^ト。や^やお
し^し。じ^じぶ^ぶつ^つま^まし^しの^の後^{あと}。可^可シ^シク^クあ^あら^らし^して^て。ア^ア。ま^まの^のい^いち^ち親^{おや}
お^お孝^{かう}の^のの^のト^トや^やい^いま^まな^なま^まじ^じつ^つ是^{これ}が^がお^おの^のち^ちを^をお^おも^もい^いた^たら^らお^おあ^あれ^れバ^バ其^{その}後^{あと}は^は
ま^まま^まの^の水^{みづ}牢^{らう}の^の苦^{くる}し^し。ま^まの^のい^いち^ちを^をお^おも^もい^いて^て。父^{ちち}も^も罪^{つみ}を^を命^{いのち}ヲ^ヲ捨^すて^て
ト^トい^いふ^ふの^の。案^{あん}増^{ぞう}め^めの^のあ^あら^らし^しが^があ^あら^らし^し。地^ちに^にい^いん
墮^おす^すの^の。ア^アら^らは^はら^らも^もい^いふ^ふ。お^おの^のま^まの^の世^よの^の物^{もの}を^をい^いち^ちに^にお^おか^かす^す。

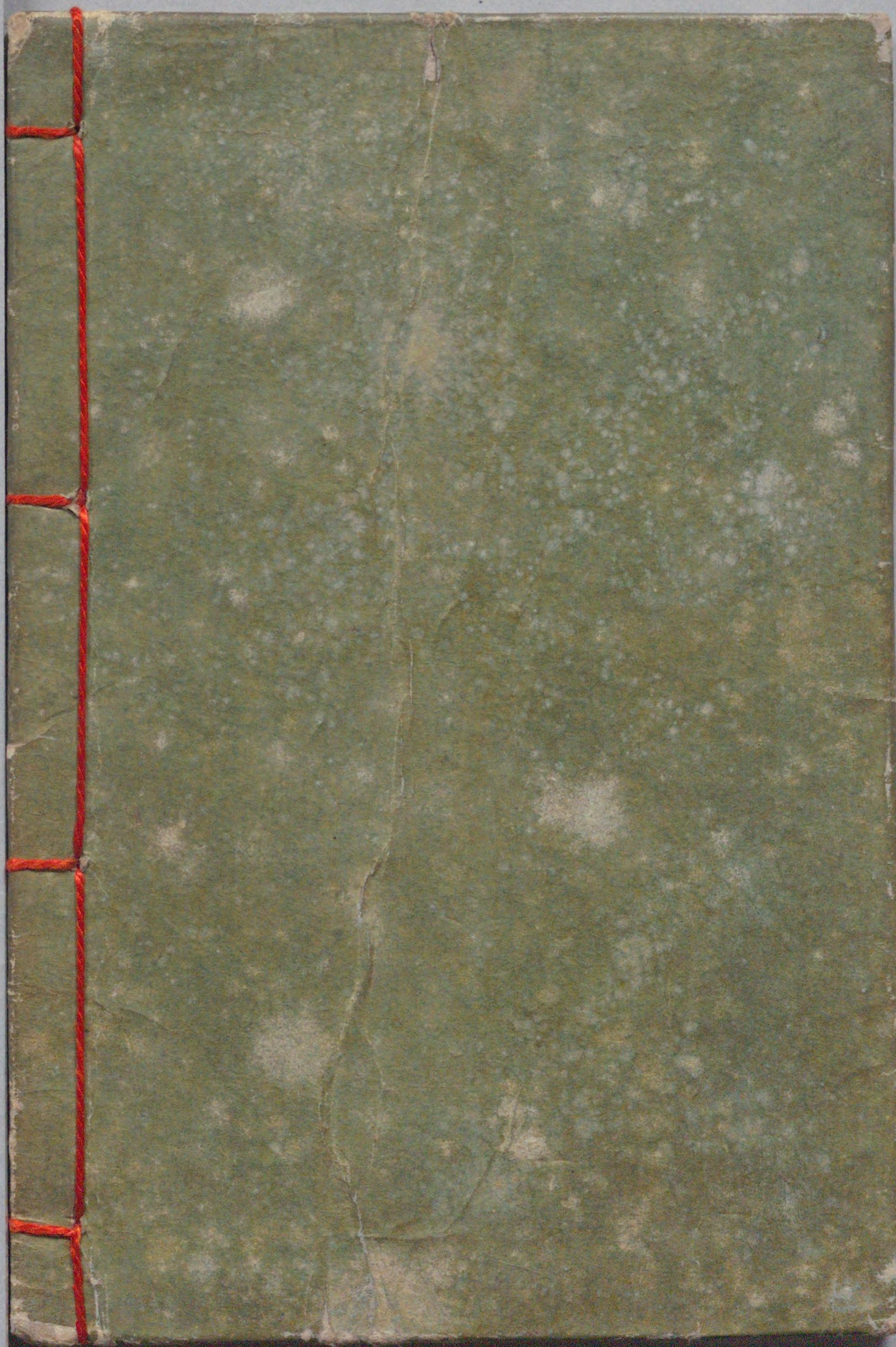


今いふ人ふあつはし。トきくや金ハ「ヤア」といふ事。ヤノ
 中指や湯舟細右あふら。業のうららき。いふこと。其
 行か流れた。まじりていふのよ。其「いれ」そのまじり。其
 豊あつておつていふ。一や中縁のあつていふ。金ハ「ヤ
 無」食のまじりていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじり
 小付とも。ヤノあつていふ。まじりていふ。人情をまじりていふ。其
 押のれまじり。まじりていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじり
 まじりとも。其まじりていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじり
 親の慈悲子を押のれざる鬼んが。老角世る小供ある
 方。トあつていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじり
 ひつとまじり。マ。四の因果とまじりていふ。まじりていふ。まじり
 んまじり。まじりていふ。まじりていふ。まじりていふ。まじり
 表らる。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり
 あり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり
 危ひあつていふ。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり
 悪業あつていふ。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり。まじり





国立国会図書館 風俗粹好伝 2編 208-701



ガラス使用

